



# アカシア俳句会



令和五年 冬季・新年俳句会「句報」

冬・新年の季語を含む作品一〜五句

「選句」 赤文字…特選

「投句」作品

作者

作者	作品	選句
齋藤優子	冬空を飾るがごとく飛行雲	茂秀
齋藤優子	寒菊や地に這うごとく咲きにけり	亘
齋藤優子	寒月や孤高の光 天空に	
齋藤優子	その昔母を手伝い大根干し	圭
齋藤優子	山眠るしんとして蔭深し	博
藤井光正	漆黒の珈琲苦き夜半の冬	由
藤井光正	ひとり来て日なたにふわり冬の蝶	徳永博
藤井光正	耳伏せて期待つ野良に虎落笛	志秀
藤井光正	すまし顔ふくら雀の細い脚	永福展茂
藤井光正	焦げ鍋に面影浮かぶたまご酒	展志
戸堂博之	クリスマスおもちゃ工場は雲の上	光
戸堂博之	「空」を説く僧侶の読経冷える床	
戸堂博之	手本積み墨守の家訓初硯	敏秀
戸堂博之	「告げるな」と戸主(ぬし)言い残し大晦日	
戸堂博之	寒に入りにつちもさつちもえりの魚	永
加龍恵子	病窓の彼方金剛雪纏ふ	由
加龍恵子	師走往く病棟柵に老夫婦	茂
加龍恵子	点滴の音なく落ちて大晦日	敏亘福展由博志光秀
加龍恵子	初日の出山際いでて染まる街	
加龍恵子	卯年来て管取れ粥の温かさ	徳佑福以茂
西村敏治	金剛へアイゼン無くて荒縄で	亘
西村敏治	おせち重型録を超え舌踊る	恵光
西村敏治	冴ゆる月工業地帯の灯がうるむ	
西村敏治	みどり児の希望のひとみ初詣	亘岩福秀
西村敏治	マンションの寂し廊下に年賀なし	
都福仁	冬の朝カラス対策家庭ゴミ	徳
都福仁	厳冬も核融合で脱炭素	以光
都福仁	寒空に雨戸を閉めて早寝酒	
都福仁	年の果て心の友も今は亡く	
都福仁	年始め友の便りに励まされ	

圭	以	佑恵	福博	圭岩以恵	志	佑亘	圭岩	展茂	永	徳永恵	徳圭佑岩敏恵由博光	佑由志	敏展以
「海山」と袋書きする大晦日	初詣神社を一周して鳥居	全力の疾走一世（ひとよ）友逝きぬ	女学生スキップハミング初詣	出ず賀状来る賀状減る八十路かな	W杯次回見るや冬紅葉	新年の集い陽光も訪ふ	新年の集い来年もと願ひ	軍拡ぞ平和の滋味ぞ開戦日	凍てし夜に星降りし野や陽にキラリ	蓮折れの重なり合ふて冬ざる	古家や妻の手入れし石露の花	筆に込む嫁ぐ孫の名祝箸	孫二十歳屠蘇盃の重みかな
佐藤茂弘	佐藤茂弘	中野亘子	中野亘子	中野亘子	山家由紀	山家由紀	山家由紀	網 佑子	網 佑子	前田秀一	前田秀一	前田秀一	前田秀一

【選句についてお願い】

- 一、お一人五句選句して頂き、その「句番号」をお寄せください。
- 二、選句の内「特選句」一句の番号の後ろに「特選」と記入して下さい。
- 三、「特選句」について、五〇文字以内で句評をお願いします。

投句、選句者氏名 ( ) 内は選句者略号(五十音順)

網 佑子(佑)、岩崎悦子(岩)、加龍恵子(恵) 楠野圭子(圭)、斎藤優子(優)、佐藤茂弘(茂)  
 戸堂博之(博)、中野亘子(亘)、西田 稔(稔)、西村敏治(敏)、野本展子(展)、藤井光正(光)、  
 前田秀一(秀)、三木徳彦(徳)、都 福仁(福)、元永悦子(永)、山家由紀(由)、吉澤志保子(志)、  
 吉田以登(以)

編集人 前田秀一